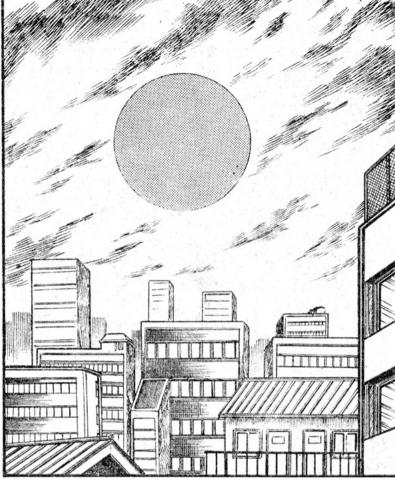
## ★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

- ※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。
- ※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。





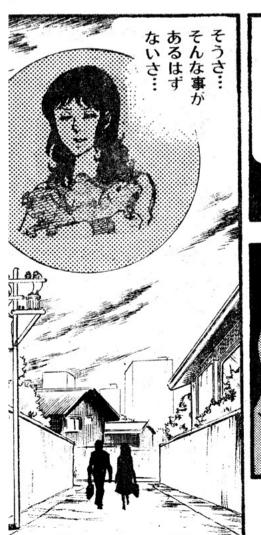








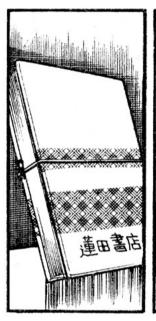
















## 1 魔女の歴史

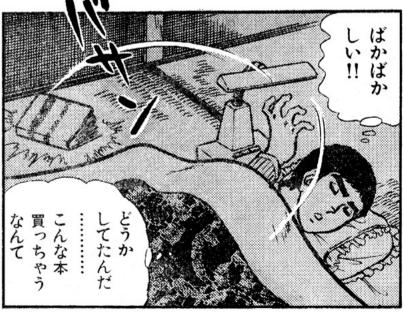
おさめた壺が発見されている。「魔女の墓」からは、魔女が用い「魔女の墓」からは、魔女が用い意の壁画にその姿を現しており、窟の壁画にその姿を現しており、窟の壁画にその姿を現しており、原女」の歴史は人間の歴史とと

波新書) 森島恒夫著『魔女狩り』(岩※参考資料 森島恒夫著『魔女狩り』(岩















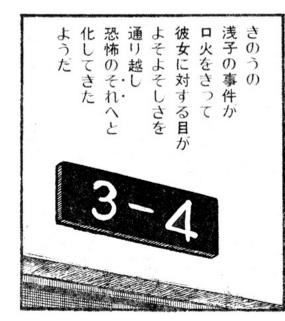








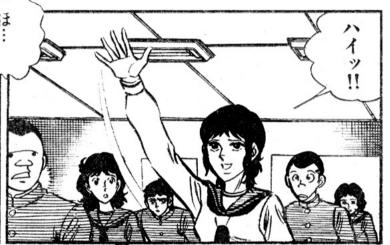








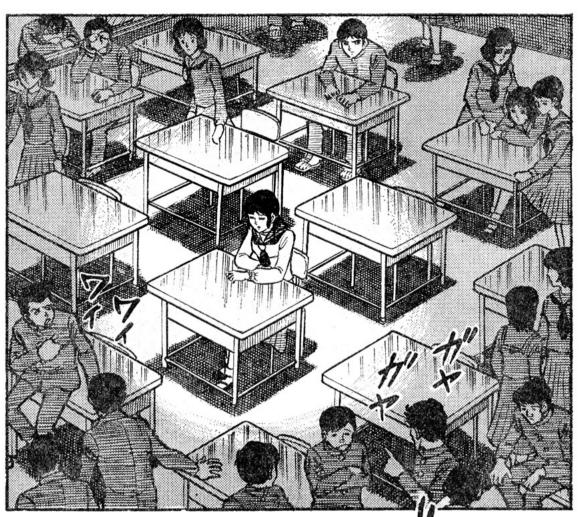


















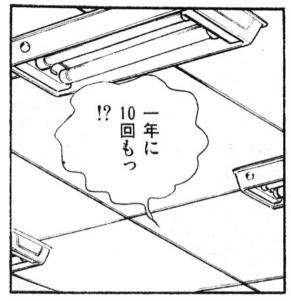


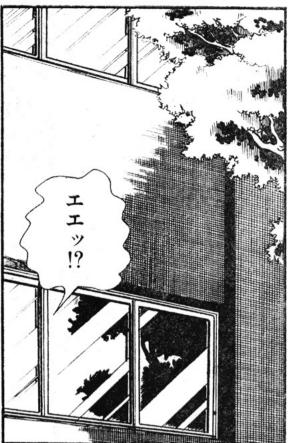










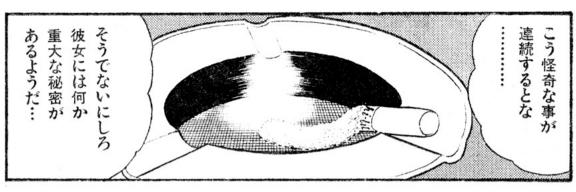


















光る眼の少女 第2回 おわり

## 『光る眼の少女』 始末記 かたおか徹治



読み切り作品「光る眼の少女」がお蔵入りになってから4年後の'80年秋、『ウルトラマン80』を『コロコロコミック』と『学年誌』(小学一年生、小学四年生)で連載していた頃、『中三時代』(旺文社)編集部のTさんから突然電話を頂きました!!

『平面ガエル』のギャグ界の大先生が失踪してしまい、編集部としては非常に窮地に立たされている。そんな事情で「あなたのお蔵入りになっている原稿を使わせてくれ」と言うことでした。私としてはそんな急な話に着いていけず、すぐには事態を理解できませんでした。しかし、Tさんがどれだけ必死になって何とかしようとしているのかは、こちらにも伝わってきました。

「読み切り作品の24頁の内、前から15頁を取りあえず掲載するので、その後を話が続くように新たに描き起こし、5回連載になるようにしたい」との依頼でした。いまの時代ではとても信じられない内容です。編集部も大先生が失踪してしまい相当困っていた様子は分かりますが、責任がある仕事なので当日の即答は出来ませんでした。ただ、まさかのお蔵入り作品の逆転掲載なので、作家として腕の見せ所と、後先の事も考えず翌日には『OK』の返事をしてしまいました。(^o^)!!

しかし、このままストーリーをイタズラに長引かせる事も出来ず、内容の再構成が必要 となり、また、4年の経年で自分の絵柄が随分変わってしまっている事も問題でした。

そこから私の葛藤が始まります。絵柄をどうやって連載中に少しずつ当時の絵柄から 今の絵柄に分からないようにつなげるか? これがストーリー以上に難しかったことで した。ストーリーはその後再構築出来たのですが絵柄が…(^\_^;)。

やはり絵柄は簡単には戻すことができず。過去の絵から少しずつ変えていこうとしたのですが叶いませんでした。4年前の絵柄に戻ることが出来る筈がなかったのです。ご覧になってお分かりになると思います・・・(^\_^;)。